

乙訓平和委員会ニュース

発行年月日 2024年4月15日 No.476 発行・乙訓平和委員会 編集責任者・米重節男
電話・FAX 075-932-3546 MAIL heiwaotokuni@gmail.com

自衛隊桂駐屯地内に初めて足を踏み入れた さくら並木の一般公開で実状を知った

向日市 田中洋子

3月31日(日)に「陸上自衛隊桂駐屯地さくら並木」公開に行って来ました。

向日市に住んで53年。阪急とJRの電車の窓からは、自衛隊基地がよく見えていましたが、基地の中に入るのは今回初めてでした。

中に入ると、広々とした敷地に芝生が広がり、たんぽぽ、シロツメクサが所々に咲いています。こんな広い所で子どもたちを遊ばせたいなと一番に思いました。入口近くの広場では、高校のブラスバンドが演奏していました。午後には桂高校の演奏とプログラムのチラシに案内されていました。自衛隊と高校ってこんなに身近なのだと知り、驚きました。

会場内のメインの催しは、6か所で装備品の展示とそれに触れることができる企画で、順番を待って行列している親子連れが多くありました。また、子どもサイズの自衛隊員の制服が、ハンガーに掛けて並べられていて、子どもが自分の好きな服を着られるコーナーにも多くの親子が集まっていました。迷彩服や水兵のセーラー服などが用意されています。迷彩服を着てうれしそうな子どもの姿を、親がスマホで写していました。親子とも楽しそうな表情でした。



子ども用の自衛隊制服で写真を撮るコーナー

住宅地に囲まれた駐屯地にびっくり

桂駐屯地の歴史と活動を紹介展示している「桂史館」の中では、1枚の写真にくぎ付けになりました。桂駐屯地の航空写真です。基地が大きく場所をとり、その周辺に住民の家がぎっしりと建っています。沖縄の普天間米軍基地を写した航空写真とそっくりで、基地を囲んで住宅がぎっしりと建っているではありませんか。

二度と戦争はしない、軍備は持たないとした憲法9条を投げ捨てて、政府が戦争をする国に向かっている今、憲法を守る運動を強めなければ思いました。その意味でも、基地周辺の土地利用を規制する法律で、桂駐屯地も対象にされるようですから、そのことの勉強もしなければ思いました。



大砲も展示 これまで使うことはなかったのは日本が平和だったおかげでしょう

(写真:米重節男)(2ページにつづく)

「教育界の坂本龍一に」

先日、ある本に、鳥の目、虫の目、魚の目について書かれてありました。それは『学校に染まるな!』(おおたとしまさ・著、ちくまプリマー新書、24.01.10)という本です。

鳥の目、虫の目で見るとは、以前から知っていたのですが、魚の目で見るというのは初めて知りました。その箇所を引用してみます。

「魚の目とは、時代の潮流を読む力です。歴史を学ぶことは魚の目を鍛える最も直接的な方法といえるでしょうが、それだけではありません」(30 ページ)

私は就職してから20年以上も毎日、日記をつけています。だいたい次の朝に前日にあったことを思い出して、書きます。

だいたい4行日記です。先日に23年1年間を全て読み返してみました。忘れていたことが大半でした。同じ4行でも、最初の2行は問いを、後の2行はその感想であったり、最初の2行は明るい話題、後の2行は暗い話題とその時々自分の流行があり、読み返していくと面白いです。

先日に出先でテレビを見ていたら、音楽プロデューサーでもあり、作詞家でもある、秋元康さんが、よりよく人生を送るためには日記をつけたら良いよと話されていました。しかも1行日記を。おそらく視聴者に日記へのハードルを下げるために1行と言われたのだと思います。さらに彼は、日記を書き続けていく中で一番大事なことがあると。

それは日記帳の前で、「この日は何を書いたら良いのだろう」と立ち止まってしまうことだと。書けなくなるということは、日頃から些細なことでも感じたり、しっかりとその時々を考えな

がら過ごすようになる、という意味のことを話されていました。

先ほどの引用した本にはさらに続きで、「音楽や美術を学ぶことは、言葉にはならない私たち人間の本性みたいなものに触れることだと思います」(31 ページ)

私はウクレレで弾き語りを時々しては楽しんでいますが、先日弾ける曲の楽譜を音楽ノートにまるまる写してみました。音符だけでなく、音楽記号もすべて。その曲は「北の国から」です。すると、今までのただ聴いていた音楽が何か、譜面を意識するようになり、音の聴き方も変わった気がします。

実は、次に3年生を持った時には、今度は作詞だけでなく、作曲もしたいと考えています。

ひょっとしたら周りから教育界の坂本龍一と呼ばれるかもしれません。

こんな冗談は置いていて、鳥の目、虫の目、魚の目の3つの目を大事にして、今年度も頑張っていきたいです。

(24.04.01)

